

近代日本画の名作、重要文化財となつて凱旋



開館40周年記念  
前田青邨展  
究極の白、天上の碧  
—近代日本画の到達点—



知られざる青邨に出会う待望の展覧会

このたび岐阜県美術館では、中津川市出身で大正から昭和の日本美術院で中核を担った日本画家、前田青邨(1885-1977)の回顧展を開催します。青邨は16歳で梶田半古に師事し、写生と古画研究によって実力を身につけました。尊敬する岡倉天心や下村観山からも指導を受けながら、同世代の精鋭と研鑽を積みました。朝鮮半島や中国への旅行、欧州留学によって異文化を体験する中で日本画の将来性の確信を得、以後92歳まで意欲的な制作を続けました。歴史人物画の名手として知られ、中でも2010年に重要文化財に指定された《洞窟の頼朝》(大倉集古館蔵)が有名ですが、本展ではこの名作が全期間通して展覧されます。さらにルネサンス期の壁画に触発されたモニュメンタルな大作《羅馬使節》(早稲田大学 會津八一記念博物館蔵)は約40年ぶりの郷土での公開となります。日本画の技法で表された自画像の名品《白頭》(東京藝術大学蔵)、やまと絵に学んだ華麗な色彩が目目を惹く《紅白梅》(ひろしま美術館蔵)等の代表作も集結します。依頼に応じて楽しみながら描いた小品も厳選して、初期から晩年まで100点を超える作品群によって、稀有なる日本画の巨匠・前田青邨の全貌をご紹介します。

混雑時には入場を制限させていただくことがあります。岐阜県美術館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、安全に配慮した取り組みを行っています。感染症拡大防止対策のため、会期及び関連催物を変更・中止する場合があります。ご来館の際は当館ウェブサイトにて最新情報をご確認ください。

岐阜県美術館 THE MUSEUM OF FINE ARTS, Gifu 〒500-8368 岐阜市宇佐4-1-22 tel.058-271-1313 fax 058-271-1315 <https://kenbi.pref.gifu.lg.jp>

会期中の催し物 ※参加方法等、詳細は当館ウェブサイトにてご確認ください。

- 記念講演会  
「祖父の画室」  
日時 2022年10月1日(土) 13:30~15:00  
会場 岐阜県美術館 講堂  
担当 秋山光文氏(前田青邨孫、目黒区美術館長)
- 美術講座  
「青邨芸術の出発点」  
日時 2022年10月22日(土) 13:30~15:00  
会場 岐阜県美術館 講堂  
担当 北泉剛史(岐阜県美術館学芸員)  
「作画三昧 青邨の人生と芸術」  
日時 2022年11月5日(土) 13:30~15:00  
会場 岐阜県美術館 講堂  
担当 青山訓子(岐阜県美術館学芸課長)
- ナンヤローネ アートツアー  
日時 2022年10月2日(日) 14:00~15:30  
会場 岐阜県美術館 多目的ホール、展示室  
担当 教育普及係  
備考 要事前申込み
- 鑑賞会  
日時 2022年10月 9日(日) 15:00~16:00  
2022年10月21日(金) 18:45~19:30  
2022年10月23日(日) 15:00~16:00  
2022年11月 6日(日) 15:00~16:00  
会場 岐阜県美術館 展示室  
担当 本展担当学芸員

交通案内

- 公共交通機関ご利用の場合  
・JR東海道線 西岐阜駅 南口から南東へ徒歩(約15分)  
・岐阜市コミュニティバス「県図書館・美術館」下車 西ぎふくるくるバス(1日7便、市橋地区循環) JR西岐阜駅南口から乗車(約5分、復路30分) すまいバス(1日9便、三里・本荘地区循環)  
・岐阜バス 岐阜市橋(6番乗場)または名鉄岐阜駅前[1番乗場]から「市橋」行きに乗車(約15分)「県美術館」下車
- タクシーご利用の場合  
JR岐阜駅または名鉄岐阜駅から乗車(約10分)
- 自家用車ご利用の場合  
名神高速道路 岐阜羽鳥ICから県庁方面へ北進 約10km  
東海北陸自動車道 岐阜各務原ICから国道21号線を西進 約10km
- 駐車場のご案内  
県図書館地上・地下駐車場、美術館・図書館南・東・西駐車場、軽自動車駐車場をご利用ください。[無料]  
車いすをご利用の場合は、おもいやり駐車場をご利用ください。[6台、無料]



- 1.《洞窟の頼朝》1929年 重要文化財 大倉集古館蔵
- 2.《紅白梅》1964年 公益財団法人ひろしま美術館蔵
- 3.《罌粟》1930年 光ミュージアム蔵
- 4.《猫(黄色いカーペット)》1949年 滋賀県立美術館蔵 ※10月23日まで展示
- 5.《鶴》1940年 株式会社十六銀行蔵
- 6.《出を待つ》1955年 岐阜県美術館蔵

©Y. MAEDA & JASPAR, Tokyo, 2022 E4701